

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671000190
法人名	医療法人 全隆会
事業所名	医療法人 全隆会 指宿みどり館
所在地	〒891-0304 指宿市東方7521番地3 (電話) 0993-24-5161
自己評価作成日	平成28年6月28日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成28年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

※利用者様が安心・安全に過ごせる環境作りをすることで利用者様の笑顔が溢れて、その人らしい生活が長く出来る様に努めています。
※地域活動に参加する事で地域に根ざした事業所になる様に努めています。
※職員は研修など積極的に参加し、認知症ケアの専門職として介護技術を利用者様のケアに繋げていける様に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

指宿市の郊外、閑静な住宅地に立地して法人の医療機関と介護老人保健施設に隣接しているグループホームである。地域の理解と協力のもと地域向けのグループホーム便りを回覧板で閲覧してもらったり地域運動会・六月灯・清掃活動へも利用者とともに参加・見学して利用者が地域社会と関わりながら生活できるように積極的に地域交流に努めている。また、通学路に面しており「こども110番の家」の委嘱を受けて地域の事業所としての役割も担っている。
日常生活支援においても生活レベルの向上を目指した利用者主体の個別ケアに努め、友人との関係継続や日用品の買い物、家族との外出、趣味の継続など具体的な要望や意向を聞き介護計画に盛り込んで、これまでの社会生活や馴染みの人との関係が継続できるように支援している。
排泄も自立に向けた支援が行われており、日中は全員が下着で生活している。入浴は温泉地である指宿の天然温泉で在宅時の生活習慣に可能な限り合わせ、午後の遅い時間帯としている。外出の機会も多く日常的には玄関先での外気浴、ホーム周辺の散歩や買い物に出かけ、ときには、地域行事見学や隣接する施設の行事見学、季節の花見、初詣、外食、遠足などにも出かけている。遠足は利用者と一緒に楽しんでもらおうと家族にも参加を呼びかけて同行してもらっている。
異動や離職がほとんどなく、職員間のコミュニケーションが図られ、働きやすい職場環境と職員の労働意欲につながるような業務体制がとられている。また、法人のバックアップ体制により資格取得にも積極的でほとんどの職員が介護福祉士・ケアマネの有資格者で知識と経験の豊富な職員が多数確保されて質の高いサービスの提供に結びついている。管理者・職員は現状に満足することなく更に地域と密着したグループホーム運営と質の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は目につく場所に掲示して常に確認が出来る様になっている。サービスに繋げていける様、念頭に置きながら実践している。	理念は日々のケアの指針として職員全員の思いと意見を集約して作成している。職員が目につきやすいホールと事務室に掲示してスタッフ会議等で確認する機会を設けている。外部や家族にも理解してもらえるようにパンフレット・重要事項説明書にも明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で参加出来る行事については参加させてもらっている。地域交流の一環としてリサイクルゴミの回収にも参加している。	通学路に面しており「こども110番の家」の委嘱を受けている。また、地域向けのホーム便りを回覧板で閲覧してもらったり利用者とともに地域の清掃活動・敬老運動会・六月灯に参加、見学して地域と関わりながら生活できるように努めている。中学生の職場体験、ボランティアの受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議に出席された地域の方にはGHのあり方など説明をしている。地域の人々に向けて「みどり館便り」を発行して認知症の理解が出来る様に発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではインシデント・アクシデント報告や活動報告をする事により意見やアドバイスを常にもらいサービス向上に活かしている。市役所職員にも参加してもらい、情報を提供してもらっている。	公民館長・民生委員・老人クラブ・家族代表・利用者代表・行政等の参加で2ヶ月に1回開催している。ホームからの報告や問題点などについて参加者からの助言をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加してもらったり、市役所へ行った際には常日頃からアドバイスをもらったりして意見交換をしている。	運営推進会議へ毎回参加があり、ホームの実情や取り組みについて積極的に伝えている。また、日頃より相談や情報収集等機会を捉えては連携を図って協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいます。施錠については日中はしない様に努めています。が、日中の見守りが手薄になるスタッフの休憩時間などに利用者様が帰宅願望があった時などは施錠しています。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する定期的な勉強会や検討会議を行って禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるように職員の認識の共有を図っている。日中は玄関の施錠などせずに職員の見守りと連携で安全で拘束のない生活の支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については各自、自覚を持ちながら業務しています。スタッフ会議などの話合いで確認し防止に努めています。見過ごす事のない様に十分に注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員ともに研修の機会があれば出来るだけ参加している。また研修内容をスタッフ会議で報告をして参加出来なかった職員も共有できる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者様やご家族には入所の際に必ず説明をして理解してもらっている。改定の際にも文書を送付して来館時に再度、説明して理解・納得が出来る様になっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族や利用者様には随時、要望や意見を聞く様にしている。意見箱も設置して管理者以外にも表せるようにしている。</p>	<p>重要事項説明書の意見・苦情窓口第三者委員も明記されており外部者へ表せる機会を設けている。また、日常の面会時、電話連絡時、家族会、行事参加等で家族から意見や要望を聞き出すように努めている。出された意見・要望等については可能な限り改善に繋げられるように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者が随時、職員とコミュニケーションを図ったり年2回、個人評価の際に各職員と個人面談を行い意見や提案を聞く様にしている。代表者とも随時、連携を取り意見や提案が反映出来るようにしている。</p>	<p>職員の労働意欲につながるような業務体制がとられており、職員の意見・提案等が運営に反映されている。離職や異動がなく職員間のコミュニケーションが図られ、法人のバックアップ体制により資格取得にも積極的でほとんどの職員が有資格者である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者や事務長から常に状況報告を受け把握し職員が向上心を持って働ける環境を整備する様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員には法人内外のスキルアップに繋がる様な研修への参加を積極的に促している。職員も力量に応じて資格取得に積極的である。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の施設との交流を行い、お互いに向上できる様な環境作りをしている。地域で開催される勉強会などにも参加してサービス向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者様が困っている事や不安な事がないか何でも話が出来るような関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>不安な事や要望はないか尋ねて安心してもらえる様な関係づくりに努めている。面会時には必ず話をして要望や不安な事がないか聞く様にしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族・本人・スタッフで話し合い最善の支援を考え必要に応じて他のサービスの利用を紹介する事がある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>一緒に料理をしたり洗濯物たたみ、片づけなど日常生活を共にする事で人生の先輩として尊重しながら関係性を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が来館された際に状態報告を行っている。毎月、個々の状況報告を送付して毎日の血圧・体温の測定値を載せて把握してもらっている。みどり館便りでも日々の活動が分かる様に写真入りで報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のご友人や昔の馴染みの方が面会に来られた際には、いつでも来館してもらえる様に声かけを行い関係が途切れない様に努めている。帰宅願望がある方などはご家族と相談して少しの時間でも自宅で過ごせる様に支援している。	家族の協力をもらいながら一時帰宅や墓参り、法事など馴染みの関係が途切れないように支援している。友人・知人の来訪も多く、訪ねやすい雰囲気作りに配慮している。温泉地であり、馴染みの温泉に家族と出かける利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全利用者様がレクリエーションに参加出来る様にスタッフ会議などで利用者様の関係性などを把握して参加が出来る様にしたり座席についても関係性を考慮して決定している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も退所先へ訪問してご家族や本人と面会し、相談に応じたり、現在の状態を聞いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人とゆっくり話を重ねて、本人の気持ちを重視出来るように繰り返し検討している。ご家族とも意見交換をして本人の気持ちに添える様に検討している。	日常の会話で思いや意向を把握し、会話が困難な利用者からは表情や体動、何気なく発したことば、家族や関係者からの情報等で本人本位に検討している。職員に「知らなかった」ということのないように申し送りし申し送りノートにて情報の共有を徹底している	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の意向に添える様に本人との話を重ね、以前の生活歴を聞き取ったり、ご家族にも生活歴を聞きサービスに繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の能力に応じて体調に配慮しながら手伝いをしてもらっている。朝、血圧・体温測定を行い、申し送り等で体調、心身状態を共有し把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の希望するケアが出来る様に、ご家族とも話し合いを行い、申し送り時やスタッフ会議等で意見交換を重ね介護計画の作成に努めている。	本人・家族から友人との関係継続や家族との外出、趣味など具体的な要望や意向を聞き、主治医・看護師・職員からの助言や意見を検討して個々に応じた介護計画を作成している。他者との交流やこれまでの社会生活の継続などがサービスに盛り込まれて個別性のある介護計画となっている。毎月職員全員で検討会議を行い状況変化に伴う見直しは都度行い、変化がなくても定期的な見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の変化や状態、希望等を各スタッフで個人記録に記入したり情報交換をする事で共有しながら見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりを十分に支える為、現段階での状態で柔軟な支援・サービスが出来る様に取り組んでいる。多機能化が出来る様に職員も柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などで公民館長や民生委員の方などから地域の情報をもらっている。また、遠足などで地域資源の活用として公共の施設見学に行ったりしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、ご本人とご家族の希望に合わせて決めている。適切な医療を受けられる様にかかりつけ医とは連携を取りながら支援している。	利用者・家族の希望するかかりつけ医となっている。隣接する母体法人の医療機関とは24時間連携が図られている。また、訪問看護ステーションとの契約により健康管理が密に行われて家族・職員の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>法人の看護師が定期的に来館し血圧、体温測定や体調の変化・状態を診てもらっている。変化がある時にはすぐに連携を取り主治医に指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者様が入院した際、ご本人の情報を提供し、安心して入院生活が送れるように支援している。また、職員が交代で面会に行き不安感が軽減出来るように支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>説明をした上でご家族で話合っ頂き、希望に添った支援が出来るように心掛けている。同意書も作成して理解をもらっている。</p>	<p>重度化及び看取りに関する指針を作成して入居時に説明し同意を得ている。入居後は身体状況に伴って主治医の判断のもと家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに看取りの実績はないが本人・家族の思いや希望に添えるように取り組む姿勢である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者様の急変や事故発生時は、すぐに対応が出来る様にスタッフ会議で対策を話し合っている。緊急連絡網も作成して早目の対応が出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>半年に一回、消防署の立会のもと避難訓練を行っている。地域の方や法人の職員にも参加してもらい協力体制を築いている。スタッフ会議で消防署からの指摘・指導を受けた事を再度、話し合い次に活かせるように努めている。</p>	<p>年2回消防署立会いの避難訓練を昼夜間想定で行っている。隣接する関連施設との協力関係は話し合われており、訓練に近隣住民の参加も得られている。スプリンクラー、自動通報システムは設置されており備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊重する事は勿論ですが、一人ひとりの性格を把握して声かけも十分に気をつけている。	理念にも「一人ひとりの権利と尊厳を守り」とあり、人格の尊重とプライバシーの確保に取り組んでいる。日常的に個々に応じた言葉かけに十分配慮した対応を心がけ利用者の情報の共有を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	誕生日には本人が希望する物をメニューに取り入れ、洋服は自分で選んでもらう様にしている。購入の希望がある方は買い物に同行してもらい自分で洋服を選んでもらっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調を一番に考えて本人のペースで過ごしてもらえる様に支援している。基本的な一日の流れはあるが本人の希望を優先する様にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2~3ヶ月毎に散髪し、自分の好み通りにしてもらっている。髭剃りは基本的に自分でしてもらっているが、不十分の時には支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人が出来る事を把握して手伝いをしてもらっている。食事の際は職員が間に入り一緒に談笑しながら楽しく食べれる様に支援している。	食事は栄養士が作成した献立をベースにして季節の食材や利用者の嗜好に応じた栄養バランスのいい食事となっている。ときにはファミレスやそうめん流しの外食に出かけたり弁当持参の遠足にも出かけて「食」を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて、おかゆ食や刻み食にしている。献立も栄養バランスを考えて提供するようにしている。季節や体調に気をつけて水分補給を調整している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔内の清潔を保つ為に義歯専用の歯磨き粉や専用歯ブラシを使用して磨いてもらっている。口腔ケア講習会を開催して口腔ケアの重要性を理解してもらう様にしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導をして失敗を減らしている。尿とりの使用枚数も減らしていける様にトイレ誘導の声かけをしながら支援している。	トイレまで移動することも生活リハビリとして捉えポータブルトイレは、なるべく使用しない方針で排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。入居後に改善された利用者も多く日中は全員が下着で過ごしており自立している利用者も多い。職員のさりげない声かけや誘導で維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材は繊維のある物を提供する様にしたり個々の状態に合わせた運動をしている。頑固な便秘時などは医師に相談して指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	必ず個々の体調を把握してから入浴してもらっている。入浴時には自分のペースで入浴が出来る様に時間を取ったり声かけをしている。	天然温泉で入浴は利用者の楽しみとなっている。可能な限り在宅時の生活習慣に近い午後の時間帯での入浴支援を行っており、順番も利用者の了解を得て決められている。家族がこれまでの馴染みの温泉に連れて行く利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自宅で生活されていた時と同様に個々の生活習慣に合わせて落ち着いて眠れる様に支援している。日中は自由に過ごせる様な環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	予薬説明書は職員部屋に保管しいつでも閲覧して用法・用量など把握し理解しておくようにしている。受診時に薬の変更があった際には全員が把握出来る様に申し送り簿や個人記録に記入しておき変化に注意する様に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物に同行してもらい、本人が喜びを感じられる様に支援している。個々の嗜好品なども購入して楽しみごとが出来様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年2回(春・秋)遠足に出かけたり、希望される場所の話を一緒にしたりして楽しみが持てる様に支援している。地域の行事も参加出来る様に地域の方と話をし参加させてもらっている。	個々の気分や天候に応じて、ホーム周辺の散歩や買い物同行などでホームに閉じこもらない生活を支援している。また、隣接する施設の行事見学、地域行事見学、季節の花見、初詣、外食、遠足などにも出かけている。遠足は利用者と一緒に楽しんでもらおうと家族にも参加を呼びかけて同行してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>欲しい物がある際はスタッフと買い物に出かけ残金に合わせて購入してもらったり新聞代も本人に払ってもらう様に支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>好きな時に家族や友人と電話が出来る様にしている。年賀状のやり取りも行い、関係が続く様に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>月々で季節に合わせた展示物を工作して季節を感じてもらっている。気温や湿度などにも配慮し、その日その日で調整しながら居心地良く過ごしてもらえる様に支援している。</p>	<p>玄関を入るとすぐに程よい広さの共用空間があり、台所と一体化しているので利用者が手伝いやすく、匂いや食事の準備の光景などは生活感を与えてくれる。庭への出入りも自由にでき、通学路となっている道路に面した玄関先には椅子が置かれて外気浴で利用されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファに座りテレビを視聴したり利用者様同士が談笑されて思い思いの時間が過ごせる様にしている。座席についても気が合う利用者同士が近くなる様に配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が作成した物を居室の壁に飾ったり寝具も自宅で使用していた物や好みの物を家族と相談しながら購入したりしている。馴染みの物を居室で置く事で安心して過ごしてもらっている。	ベッド・タンスが備え付けで寝具・ラジオ・家族の写真やお気に入りの調度品などが持ち込まれ、居心地良く過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内は歩行が安全に行える様に障害物を無くし、手摺りを付けて活用したりしている。ベットからの乗り降りが危険な方はベットを低くして対応し安全に暮らせる様にしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない